

## 丹精込めたお米が高評価 曾根さんの「ななつぼし」優秀賞

全国から良食味が集まる「お米番付」で、自身の「ななつぼし」が優秀賞に輝いた曾根さん



町内7区で米づくりに励む曾根一貴さんが育てた「ななつぼし」が、全国の米の食味を競う「お米番付」で、最優秀賞に次ぐ優秀賞に選ばれました。優秀賞は道内で唯一の受賞です。初出品での快挙に、曾根さんは「毎日田んぼを見続けてきたことが実を結びました」と喜びを語ります。

目で審査しました。朗報を受けた曾根さんは「全国各地から風味豊かなお米が集まるコンテストで、あっさりとした味わいの『ななつぼし』が、ここまで評価されて驚いています」と笑顔を見せます。

お米づくりのこだわりは、施肥量を極力抑え、毎日くまなく稲の生育状態を観察すること。その積み重ねが功を奏し、昨年の猛暑の中でも適切な収穫時期を見極めることができたといいます。

「妹背牛のお米が一番おいしい」。祖父がよく口にしていた言葉を思い返しながら、7代目の水稻農家はさらに高みを目指しています。

## 地域おこし協力隊通信

妹背牛町に在籍する地域おこし協力隊員の活動状況などを紹介します。

### よこたしほ 與古田 史帆 さん



スコップで雪を積み上げる與古田さん

地域おこし協力隊の與古田史帆さんは、沖縄県出身です。家族3人で初めて迎えた北海道の冬は、毎日が新しい発見の連続だったそうです。

與古田さんにとって雪は「テレビで見えるもの」から「暮らしに欠かせない存在」へと大きく変わりました。町に来て最初に購入した冬道具のひとつが、除雪用の大きなスコップ。ふわふわに見える雪の意外な重さに驚きながらも、雪を遠くへ飛ばすコツを少しずつ覚ええました。

ストーブは、見るのも使うのも人生で初めての体験。最初は山口出身の夫から使い方を教わったそうです。外は厳しい寒さでも、與古田さんは「ストーブや電気カーペットのおかげで家の中はぽかぽかと暖かいです」と笑顔で話しています。

小学6年生の長男は寒さにも負けず、友だちと一緒に元氣いっぱい学校生活を楽しんでいるといいます。

與古田さんは、そんな寒い季節にぴったりの「沖縄おでん」の販売に向けて準備を進めています。かつおぶしの風味を効かせたあっさりとした出汁に、豚肉のうまみが広がるのが特長で、キッチンカーでの販売を計画中です。

日ごろの活動や暮らしの様子は、動画投稿アプリ「TikTok（ティックトック）」のアカウント「與古田商店」で発信しています。SNSでの魅力発信にも力を入れながら、地域に寄り添った活動を続けていきます。



與古田さんのTikTok アカウント